



ふれあいの里「ログハウス」

第2回 6月定例会	臨時対策交付金盛り込む 2億7200万円	3
	議員定数 2名削減 次回選挙より	4
	一般質問 ここが聞きたい! 8人登壇!	5
	議会の総意 農業委員会委員に女性4人推せん	12



農業に新風を!! 「議会 女性を4人推せん」

農業委員会委員は一般選挙による選出14名、各団体推せん3名、ほかに議員推せん4名で構成されています。先の第2回臨時議会において議会推せんを可決しました。高齢化の進行や担い手の減少による農業生産力の低下、耕作放棄地の増加、農産物価格の低迷など農業・農村を取り巻く情勢は厳しさを増しています。また偽装表示等さまざまな食をめぐる問題を契機に、健全な食生活の実践や食の安心・安全に関する関心が高まっています。こうした中、農業・農村の振興・発展のためには、農村現場での女性農業者の役割を適正に評価し、農業者であると同時に消費者である女性が、生活や地域に根ざした

視点を活かしながら、農業経営やこれに関する活動に参画できる環境の整備が必要です。厳しい環境化の農政、農業人口が減少する中、上毛町も農業に携わる女性も少なくない。女性から見ると、これからの現代農業、どうあるべきか。今回の議会推せんは女性4名を選出しました。皆さんの力で新しい風を農業委員会に吹き込むことを期待をし、農業に携わる女性の社会進出を促進するのみならず、その声が行政に反映されることにより、女性の地位の向上と魅力ある農業と地域づくりにつながるものと確信しています。

編集後記

農業が雇用の受け皿として注目を浴びている。農業は高齢化が進んで人手不足ということらしい。しかし、2007年の農業生産額は8兆2千億円で、パナソニック社の08年の売上高9兆7百億にも及ばない。このことを考えると農業は簡単に雇用の受け皿にはなり得ないと思う。しかしながら食料自給率39%、野、山の荒廃を現実にして農村、農業は何をすべきか。毎年輸入されている食糧の輸入量を生産される農地に換算すると日本の農地の2倍という広大な農地を外国に依存しているといわれている。食料の安全、安心、安定と生活環境を考える時、日本農業の在り方を農業側だけの問題でなく、消費者を含めた国民的な問題として真剣に考えなければならぬ時期にきていると思うこの頃である。

中 宏

発行責任者 村上 正弘
広報特別委員会
委員長 坪根 秀介 副委員長 三田 敏和
委員 茂呂 孝志 中 宏 峯 新一
宮崎 昌宗 高畑 広視



議会傍聴のご案内

議会の傍聴においでください。

皆さんが選んだ議員が、議会でのどのような活動をしているか、又議会がどのように行なわれているかを知るために、議会の傍聴をおすすめします。議会の開会は、3月、6月、9月、12月が定例会の月で、必要に応じて臨時会が開かれます。開催場所は上毛町大平支所(たいへいの里)2F議場です。